

令和 5 年 2 月 22 日

株式会社一休

「東京都の社会的課題解決に貢献する東京ソーシャルボンドへの投資」

株式会社一休(代表取締役:金子清範、以下「当社」)は東京都が発行する「東京ソーシャルボンド」が東京都の社会的課題の解決に資する取り組みに活用されることを期待し、このたび、東京ソーシャルボンドに投資したことをお知らせいたします。

東京ソーシャルボンド発行による調達資金は、社会的に支援が必要な人々を対象とする東京都の事業に充当されます。今回債の調達資金は、「公共施設・インフラの防災対策／老朽化対策」、「産業の振興と雇用の維持・創出」、「一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすための教育環境の整備」、「介護サービス基盤の整備」、「児童福祉施設等の設備」、「公共施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化」に充当される予定です。

当社は幅広い事業分野において社会貢献への取り組みを実践しており、東京ソーシャルボンドへの投資を通じて、収益性の確保のみならず、東京都の社会的な課題を解決する施策への貢献も果たしてまいります。

また、当社地元自治体である東村山市は「SDGs 推進都市宣言」を表明しており、地方創生 SDGs の目標達成を掲げております。持続可能な社会の構築に向け地域が一丸となって取り組むことが重要であることから、今後も東村山市とも連携し具体的な策を講じて参ります。

当社は、国連で採択された持続可能な開発目標「SDGs」の実現に向けて、CSR 経営を推進しております。当該ソーシャルボンドの資金は、社会的に支援が必要な人々を対象とする事業へ充当される予定であり、当社は当該債券を購入することで、SDGs の目標4「質の高い教育をみんなに」・目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」・目標11「住み続けられるまちづくりを」・目標13「気候変動に具体的な対策を」等の貢献に繋がるものと考えております。

当社は、今後も適切にリスク管理のもとで、社会的責任の観点も考慮し、運用を継続していきます。ESG 投融資を通じて、持続可能な社会の実現に向けて、社会的責任を果たしてまいります。

※ESG は、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉です。ESG 債は、調達資金が ESG 関連の事業に充当される債券のことを言います。

※SDGs とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015 年 9 月の国連サミットで採択された 2030 年を年限とする国際目標です。SDGs は持続可能な世界を実現するための 17 のゴールから構成され、先進国を含む全ての国々の共通目標となっています。